

第9期市町村介護保険事業計画に 盛り込む重点項目について

※ 第9期市町村介護保険事業計画に記載する項目については、国の基本指針に即して策定されるものであるが、今回、和歌山県として、特に、市町村において重点的に取り組むものとして、計画に記載していただきたい内容について整理したもの。

1 健康づくり・介護予防・自立支援・重度化防止の推進

<健康づくり・介護予防>

記載していただきたい内容

「住民主体の通いの場」に関する取組内容及び数値目標（参加者数、参加率、実施箇所数等）

※取組内容については、一体的実施の取組や訪問型・通所型サービスC(短期集中予防サービス)等との連携を図りつつ推進する視点に立って記載すること。

（取組にあたっての留意事項）

通いの場の参加者の健康状態や満足度について把握・分析した上で、通いの場の効果を検証し、必要に応じて改善を行うことについて、検討されたい。

<自立支援・重度化防止>

記載していただきたい内容

「自立支援型ケアマネジメント」を推進する取組内容及び数値目標（地域ケア個別会議で取り上げた事例の検討件数、短期集中予防サービスの利用者数等）。

（例）自立支援型ケアマネジメントを推進する取組

- ・自立支援型の地域ケア個別会議の定期開催
- ・住民、介護支援専門員、地域包括支援センター、介護サービス事業者等に対する介護保険の理念や保険者として取り組むべき基本方針等の周知
- ・多様なサービス（短期集中予防サービス等）の創出・充実 等

※取組内容については、高齢者の生活の質(QOL)の向上を目指す視点に立って記載すること。

（取組にあたっての留意事項）

短期集中予防サービスについては、生活行為の改善を目的としており、運動機能等の回復に効果的であるとされていることから、未実施の市町村においても、取組を積極的に検討されたい。

2 認知症施策の推進

記載していただきたい内容

認知症施策推進大綱で定められた KPI（目標）のうち、特に、以下の取組内容と数値目標（養成者数等）。

- 認知症サポーター養成
- 認知症の人や家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジ等）の整備

（取組にあたっての留意事項）

チームオレンジ等の整備については、認知症施策推進大綱で定められた KPI（目標）において、全市町村で整備することとされていることから、未整備の市町村においても、取組を積極的に検討されたい。

また、本年6月に成立した認知症基本法の施行に向け、国が今後策定する認知症施策推進基本計画の内容等を踏まえて、認知症施策を推進されたい。

3 介護給付適正化へ向けた取組の推進

記載していただきたい内容

次期計画期間から再編される介護給付適正化3事業（要介護認定の適正化、ケアプラン点検及び医療情報との突合・縦覧点検）についての取組内容及び数値目標（点検件数等）。

（取組にあたっての留意事項）

ケアプラン点検については、未実施の市町村においても、確実に実施されたい。

なお、ケアプラン点検にあたっては、検証方法として効果的と考えられる以下の3点について優先的に実施されたい。

- （1）生活援助の訪問回数が多く占めるものとして届出されたケアプラン
- （2）区分支給限度基準額の利用割合が高く、かつ訪問介護が利用サービスの大部分を占めるものとして届出されたケアプラン

（※（1）、（2）は、当該サービスをケアプランに位置付けた理由の確認を含む。）

- （3）有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居者のケアプランのうち、区分支給限度基準額の利用割合が高い等の条件に該当するケアプラン